



子どもの新型コロナの感染者が急増しています！

2月に入り、多くの保育所、幼稚園、学校で新型コロナの感染者が発生し、休園、休校が相次いでいます。一部の学校ではクラスターの発生もあります。2月の愛媛県の新型コロナの新規陽性者の年代別発生数でも10歳未満が最も多くなっています。

感染経路もこれまで家庭内感染が多いとされてきましたが、今年1月の文科省の調査によると幼稚園、小学校では感染経路不明の割合が43%、59%で最も多くなっています。

小児の新型コロナの症状は一般的な風邪とあまり変わりませんが、私の少ない経験から言えば、新型コロナでは、①発熱はほぼ全例にみられること ②他の風邪に比べ全身倦怠感が強いことなどが特徴としてあげられます。発熱がなく、咳、鼻水だけで機嫌がいいお子さんは陽性となる確率は低いように思います。(あくまで個人的な感想です)

習い事や学童保育で感染したケースもありました。子どもの感染が拡大しているこの時期は、保育所や家庭内に新型コロナの患者さんや濃厚接触者の方がいなくても、37.5度以上の発熱があれば発熱外来がある医療機関を受診するようにしてください。

Q: 5~11歳のコロナワクチンはいつから？

今治市では集団接種と医療機関での個別接種の併用で実施されます。

集団接種は市内の小児科医が出務して3月6日(日)から始まります。毎日曜日午前中に予定されています。

小児科クリニックでの個別接種は予約制で、接種は3月14日から開始されます。国からのワクチンの供給量が当初は少ないため、10歳、11歳の小児から接種が開始されます。小児科クリニックでは発熱外来を実施している関係で十分な予約枠を設けることができません。接種を希望される方は集団接種もご利用ください。

2月の感染症情報

RSウイルス感染症が流行し始めました。昨年夏に感染した子どもが再び感染するケースも多数みられます。

感染性胃腸炎は先月から引き続き流行しています。子どもの新型コロナの発生には来月も警戒が必要です。インフルエンザの発生はありませんでした。



2月の利用状況

2月の利用延べ人数は33名で、1日平均利用人数は1.6人でした。年齢別では1歳児と2歳児で全体の3/4を占めていました。疾患別では急性上気道炎が16人と最も多く、RSV感染症7人、感染性胃腸炎2人などでした。2月中旬からRSV感染症が流行してきました。昨年夏に感染したお子さんが再びかかるケースが目立ちます。RSVの抗体は半年も持続しないようです。集団生活をする兄弟がいる0歳のお子さんをお持ちの親御さんはくれぐれもご注意ください。RSVは飛沫感染と接触感染をおこします。それに応じた対策をしてください。